

# アスリートが拓く企業の未来

セキショウグループには、仕事に励みながらアスリートとしての夢を追い続ける社員たちがいる。地元で腰を据え、仕事と競技の両立を目指す彼らの生き方は、豊かで健康・安心できる地域社会づくりに貢献するグループの理念とも一致する。各部門で業務をこなしつつ、自分の夢に向かって挑戦する4人が思いを語り合った。

「競技へのこだわりと、関心ある選手を選んだ理由を教えてください。」  
須貝 子供の時から自転車競技のある選手一高に進学し、本格的に競技を始めました。高校・大学・成人部門で茨城県代表として選出され、国体に出場していただきました。セキショウホンダ守谷網の台店を選んだきっかけは、営業の仕事で希望していたこと、練習拠点である取手競輪場が近い守谷市内という理由から入社を決めました。

城国体に向けて復帰し、ライフル射撃3姿勢で3位に入賞しました。家族をはじめ地元の方々の支えがあり、トップ争いに関われる選手に戻って頂いた恩を感じ、地元で就職を考えたとき、国体スポンサーであった関影商事の「地域に育てられた、地域に奉仕する」という企業姿勢に強く惹かれました。2020年4月に開園したみらいのもり保育園に勤務しています。

地域に貢献する企業の姿勢に共感し入社を決めました。現在は、デジタルトランスフォーメーション部にて勤務をしています。  
山口 以前は野球に打ち込んでいたのですが、15歳の時に病気のため視覚障害になりました。現在はパラスポーツであるゴールボールをプレーしています。17歳でユース代表に入り、20歳の時にトップチームへ合流しました。私が関影商事に入社したきっかけは、盲学校高等部2年の時に出場した「全国盲学校弁論大会」の際、関正樹社長とお会いした事がきっかけで、卒業後に入社しました。現在は、総務部に仕事をしています。

## 自分の経験・将来の夢を伝えたい



ゴールボール  
やまぐち りょうが  
**山口 凌河**  
関影商事 総務部  
2019年入社  
取手市出身 23歳  
2013年 世界ユース選手権優勝  
2018年 日本ゴールボール選手権2位  
2019年 同2位



「普段の練習はどのように取り組んでいますか。」  
須貝 プロ選手の練習が始まる前から仕事に行くまでの、朝の5時から8時までを自分の練習時間としています。  
山田 木曜が練習日です。全日本などの大きな試合がある場合は1、2週間前から休みをいって試合に集中します。練習場は地元の桜川市にある県営ライフル射撃場です。  
佐久間 私の練習場は主に水戸市の県武道館です。練習は月、水、金曜で、仕事が終わった後の午後7時から9時までです。仕事で遅くなってしまう時は自宅で射形の練習をしています。  
山口 私は出勤する水、木曜以外はトレーニングをしています。所属クラブの関係で練習拠点は埼玉県所沢市ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、現在は東京のナショナルトレーニングセンターでウエイトやボールを使ったトレーニングに取り組んでいます。



## 女性が活躍する場を広げたい

「競技を続けていることは、仕事の上でどんなメリットを感じますか。」  
須貝 仕事をしているから結果が出ない、と言いきれませんが、学生時代に比べて競技に向ける時間は減りますが、与えられた環境

でいかに工夫して成果を出すかがアスリート社員としての心構えです。地域密着型の企業なので地元のお客様が多く、取手一高で自転車競技をしていましたと自己紹介すると話が弾みます。「スポーツマンは頑張りが利くよね」とおほめの言葉をいただきます。母校のことなどで話題が広がります。遠征で土日勤務を外れる時もありますが、職場の同僚がフォローしてくださり安心して競技に取り組んでいます。  
山田 保育士は射撃の選手と並んでもう一つの自分の夢でした。両立できるとは思わなかつ

ライフル射撃  
やまぐち りょうが  
**山田 優子**  
社会福祉法人関影会 みらいのもり保育園  
2020年入社  
桜川市出身 42歳  
2018年 福井国体成年女子スモールボア伏射優勝  
全日本選手権スモールボア伏射優勝  
2019年 茨城国体成年女子スモールボア3姿勢3位



## 地域貢献する企業姿勢に共感

「子供たちに自分の経験や将来の夢、共生社会などについての講演活動を行いました。練習については、緊急事態宣言の時、施設が閉鎖されて使用できなくなったため、モチベーション維持のために毎日同じ時間に起きて散歩したり、音声読書で教養を深めたりしました。公園で読書しているとき温や風の変化への関心が高まり、普段の練習とは違った、よい気持ちを得られました。」  
佐久間 デジタルトランスフォーメーション部はリモートワークが可能な職場なので、在宅勤務との組み合わせで業務を進めていきました。緊急事態宣言の時は週1回の出勤になりました。

「仕事と競技の両立に向けて目標や夢を教えてください。」  
須貝 競技一筋ではなく、仕事でも1位を狙っていきます。自分が仕事と競技の両方で結果を残すことで、アスリートへの企業評価が高まり、アスリート採用が増える機運が醸成されれば良いと思います。また、スポーツイベントなどを発案して地域を盛り上げたいです。  
山田 競技者としてはパリ五輪に向けてスタートラインに立ったと

## 仕事も競技も1位を狙います



自転車  
すがい しょうご  
**須貝 翔吾**  
セキショウホンダ 守谷網の台店  
2020年入社  
千葉県野田市出身 24歳  
2018年 六大学ロードレース総合優勝  
2019年 茨城国体成年男子県代表  
団体追い抜き4位



「ですが、デスクワークも少しずつ増やして会社に貢献したいです。もう一つは、障がい者スポーツを応援していただける雰囲気をつくって盛り上げていきたい。そのためには、講演を通じて自身が行っている競技を知ってもらい、障がい者スポーツの魅力を知りたいと考えています。このたび、セキショウグループのアスリート社員10名でつくるセキショウアスリートクラブが発足しました。今回のように皆で集まってお互いに発言しあい、高め合っていきたいと思っています。」



セキショウアスリートクラブ  
ホームページ  
https://www.sekisho.co.jp/athlete/  
企画制作・茨城新聞社営業局